

NAS 設定保存・復元ツールの使いかた

■ NAS 設定保存・復元ツールとは

NAS 設定保存・復元ツールは、LAN 内にある TeraStation/LinkStation(以降、本紙では合わせて TeraStation と表記します。)の設定情報を、ネットワーク経由でパソコンに設定ファイル(nas_config ファイル)として保存し、必要な場合に復元することができるソフトウェアです。

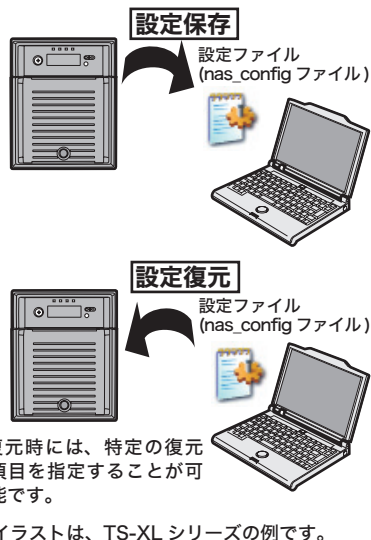
設定を保存した TeraStation への復元の他、同一シリーズの製品への復元に対応しています(同一シリーズであれば、容量が異なるモデルでも復元が行えます)。

また、復元時に、特定の項目について復元の指定を行なえます。復元先のデータを残したまま設定を復元したり、復元先のデータを削除した後に設定だけを復元することもできます。

※ NAS 設定保存・復元ツールでは、TeraStation 内データの保存は行われません。



< NAS 設定保存・復元ツールのトップ画面 >



NAS 設定保存・復元ツールはこんなときにご利用いただけます

- ・新規導入時、先に導入した TeraStation の設定を反映させることにより、設定作業負担を軽減できます。
- ・同一設定の TeraStation を複数作成する場合に、作業負担を軽減できます。
- ・設定情報を誤って変更してしまった場合に、事前に保存していた設定に戻すことが可能です。
- ・TeraStation の現在の設定情報を保存しておき、予備機の TeraStation に設定を復元して代替機として利用できます。

■対応 TeraStation・対応 OS

対応 TeraStation : TS-XHL シリーズ、TS-XL シリーズ、TS-XEL シリーズ、TS-WXL シリーズ、TS-RXL シリーズ、TS-HTGL シリーズ、TS-RHTGL シリーズ、LS-GL シリーズ

対応 OS : Windows 8(64 ビット /32 ビット)、Windows 7(64 ビット /32 ビット)、Windows Vista(64 ビット /32 ビット)、Windows XP、Windows 2000

■インストール

nascfgr-ins.exe をダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールしてください。

※ NAS 設定保存・復元ツールは、ソフトウェア使用許諾契約にご同意いただいたうえで、お客様の自己責任でお使いください。

※本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

■ご注意ください

- ・NAS 設定保存・復元ツールは、TeraStation の設定保存および復元を行うツールです。データの保存・復元を行うツールではありません。共有フォルダ内のサブフォルダーやファイルなどのデータは保存・復元されません。
- ・復元設定を誤ったり、nas_config ファイルの元となった TeraStation の設定によっては、復元を実施した TeraStation が起動できなくなることがあります。復元を行う前に、復元先や設定の内容など十分に確認してください。
- ・復元によって TeraStation のディスク構成 (※RAID 構成など) の変更がおこなわれる場合、復元先 TeraStation のフォルダーやファイルなどの既存データは全て削除されます。復元を行う際にはご注意ください。
- ・ユーザー・グループの復元を行う場合、復元後の TeraStation の管理者パスワードは、nas_config ファイルの元となった TeraStation の管理者パスワードに変更されます。管理者パスワードを忘れると TeraStation の設定の変更が行えなくなります。パスワードを忘れないようご注意ください。
- ・ユーザーグループの復元を行う場合、復元先 TeraStation の既存の共有フォルダーに設定されているアクセス制限は全て削除されます。
- ・NAS 設定保存・復元ツールを使用するには、対象となる TeraStation の共有フォルダーにアクセスできる必要があります。TeraStation の設定画面で [ネットワークサービス] の [SMB] の有効 / 無効を設定できる製品、[ユーザー]-[guest] の有効 / 無効を設定できる製品では、有効になるよう設定してください。
- ・復元前と復元後の管理者パスワードが異なる場合、復元の実行中に復元後の管理者パスワードを入力する必要があります。

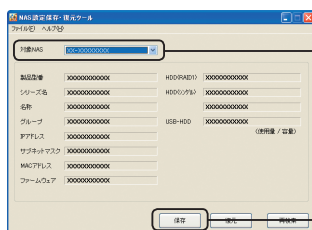
■設定の保存手順

TeraStation の設定を保存するには、次のように行います。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[NAS 設定保存・復元ツール]-[NAS 設定保存・復元ツール] をクリックし、NAS 設定保存・復元ツールを起動します。

※ Windows 8 をお使いの場合は、スタート画面の [NAS 設定保存・復元ツール] をクリックします。

2



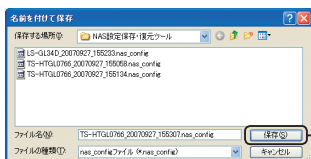
① 設定を保存したい TeraStation を選択します。

② [保存] をクリックします。

■メモ トップ画面で表示される項目は次のとおりです。

項目	はたらき
製品型番	TeraStation の製品型番が表示されます。
シリーズ名	TeraStation のシリーズ名が表示されます。
名称	TeraStation の名称が表示されます。
グループ	TeraStation のワークグループ名が表示されます。 例：WORKGROUP
IP アドレス	TeraStation の IP アドレスが表示されます。 DHCP サーバーから IP アドレスを取得している場合は DHCP と表示されます。 例：192.168.0.10 (DHCP)
サブネットマスク	TeraStation のサブネットマスクが表示されます。 例：255.255.255.0
MAC アドレス	TeraStation の MAC アドレスが表示されます。
ファームウェア	TeraStation のファームウェア・バージョンが表示されます。 例：1.22
HDD	内蔵ハードディスクの使用量／全容量が帯グラフと数値で表示されます。 例：0.0GB / 231.8GB (0%)
USB-HDD	TeraStation の USB コネクターに接続したハードディスクの使用量／全容量が表示されます。USB ハードディスクが接続されている場合のみ表示されます。
[保存]	クリックすると選択された TeraStation の設定の保存を開始します。
[復元]	クリックすると選択された TeraStation の設定の復元を開始します。
[再検索]	LAN 内の TeraStation を検索します。

3



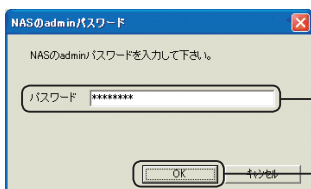
[保存] をクリックし、nas_config ファイルを保存します。

メモ ファイル名は、初期状態では次のようになっています。ファイル名は直接入力して別のファイル名にすることもできます。

TeraStation の名称 _ 日付 _ 時刻.nas_config

例：TS_HTGL0AA_20070829_131400.nas_config

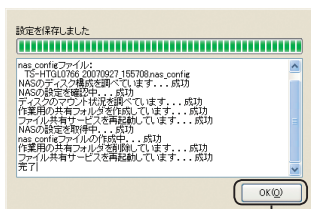
4



①対象の TeraStation の admin パスワードを入力します。

② [OK] をクリックします。

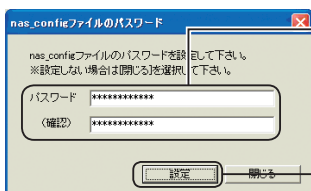
5



注意 ディスク構成の変更が行われている場合 (RAID 構築中や RAID メンテナンス中) など、TeraStation に高い負荷がかかっているときは、設定の保存が失敗することがあります。このようなときは、再度保存を実行してください。再度実行しても失敗するようなときは、RAID 構築や RAID メンテナンスなどの処理が完了してから実行してください。

保存処理が完了すると [OK] がクリックできるようになります。[OK] をクリックします。

6



① nas_config ファイルをセキュリティ保護するため、復元するときに入力するパスワードを入力します。

※ [閉じる] をクリックすると nas_config ファイルはセキュリティ保護されません。

② [設定] をクリックします。

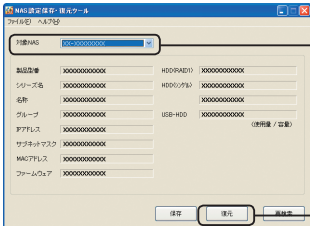
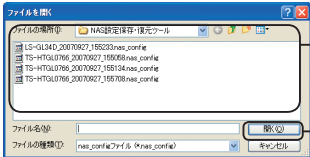
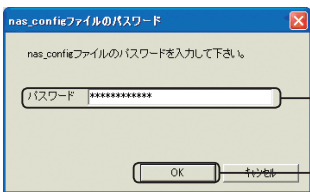
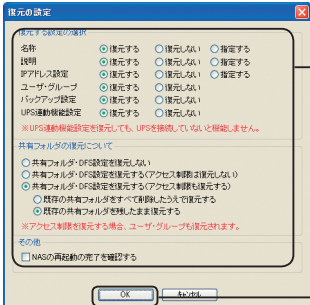
以上で TeraStation の設定の保存は完了です。

■ 設定の復元手順

TeraStation の設定を復元するには、次のように行います。

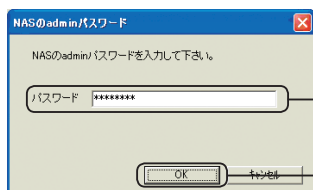
- 1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[NAS 設定保存・復元ツール]-[NAS 設定保存・復元ツール] をクリックし、NAS 設定保存・復元ツールを起動します。

※ Windows 8 をお使いの場合は、スタート画面の [NAS 設定保存・復元ツール] をクリックします。

- 2  ① 設定を復元したい TeraStation を選択します。
② [復元] をクリックします。
- 3  ① 保存した TeraStation の nas_config ファイルを選択します。
② [開く] をクリックします。
- 4  nas_config ファイルにパスワードが設定されていない場合、この画面は表示されません。手順 5 へお進みください。
① nas_config ファイル保存時に設定したパスワードを入力します。
② [OK] をクリックします。
- 5  ① 各項目を設定します。
※詳しくは、6 ページをご参照ください。
② [OK] をクリックします。

次のページへ続く

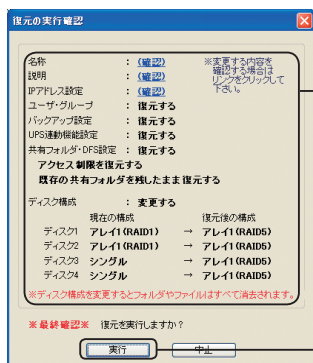
6



①対象のTeraStationのadminパスワードを入力します。

② [OK] をクリックします。

7



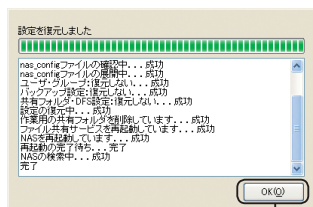
①各項目を確認します。

※「名称」「説明」「IP アドレス」を確認する場合、[確認] をクリックしてください。指定した内容を確認することができます。

△注意 設定を保存した環境と復元先が適切でない場合、TeraStation が起動できなくなることもあります。十分に確認してから実行をクリックしてください。

② [実行] をクリックします。

8



△注意 ディスク構成の変更が行われている場合 (RAID 構築中や RAID メンテナンス中) など、TeraStation に高い負荷がかかっているときは、設定の復元が失敗することがあります。このようなときは、再度保存を実行してください。再度実行しても失敗するようなときは、RAID 構築や RAID メンテナンスなどの処理が完了してから実行してください。

復元処理が完了すると [OK] がクリックできるようになります。[OK] をクリックします。

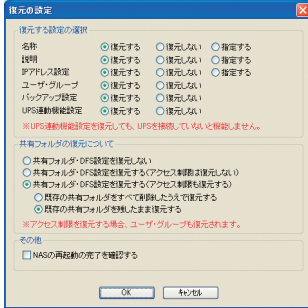
以上で TeraStation の設定の復元は完了です。

■復元の設定

復元の設定については、下記の画面で行います。

NAS 設定保存・復元ツールのメニューから、[ファイル]-[復元の設定] をクリックすると表示することができます。

※下記の画面で復元の選択が表示されていない項目は、すべて復元対象の項目となります。



■メモ 復元の設定画面で設定できる項目は次のとおりです。

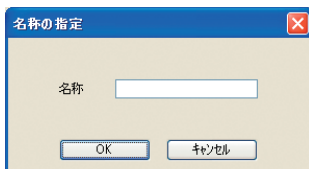
項目	はたらき
復元する設定の選択	<p>復元する設定の項目を下記から選択できます。</p> <p>「名称」「説明」「IP アドレス設定」「ユーザ・グループ」「バックアップ設定」「UPS 連動機能設定」</p> <p>※初期設定では、「名称」「説明」「IP アドレス設定」「ユーザ・グループ」「バックアップ設定」が選択されています。</p> <p>※「名称」「説明」「IP アドレス設定」では、[指定する] をクリックすると、個別に入力して指定することができます。詳しくは 7 ページをご参照ください。</p>
共有フォルダの復元について	<p>共有フォルダの復元についての設定を下記から選択できます。</p> <p>「共有フォルダ・DFS 設定を復元しない」</p> <p>「共有フォルダ・DFS 設定を復元する（アクセス制限は復元しない）」</p> <p>「共有フォルダ・DFS 設定を復元する（アクセス制限も復元する）」</p> <p>「既存の共有フォルダをすべて削除したうえで復元する」</p> <p>「既存の共有フォルダを残したまま復元する」</p> <p>※初期設定では、「共有フォルダ・DFS 設定を復元する（アクセス制限も復元する）」「既存の共有フォルダを残したまま復元する」が選択されています。</p>
その他	<p>復元完了時の TeraStation の再起動において、再起動の完了を確認するか、確認しないかを選択できます。</p> <p>再起動の完了を確認しない場合：</p> <p>時間を置かず続けて他の TeraStation の保存・復元を行うことができます（復元を行った TeraStation は、再起動が完了するまで操作はできません）。</p> <p>再起動の完了を確認する場合：</p> <p>復元を行った TeraStation の再起動の完了をよりはっきりと確認することができます。</p> <p>※初期設定では、TeraStation の再起動の完了を確認しないよう設定されています。</p>

■名称・説明・IP アドレスの指定

TeraStation の「名称」「説明」「IP アドレス」は指定することができます。

< 名称の指定 >

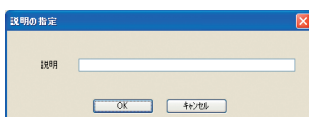
4 ページの復元の設定画面で、[名称]-[指定する] をクリックすると表示することができます。

名称の指定ダイアログボックス。タイトルバーには「名称の指定」とあり、右上には閉じるボタン（X）があります。中央には「名称」というラベルと入力フィールドがあります。下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。

名称を指定するには、[名称] に TeraStation の名称を入力し、[OK] をクリックします。

< 説明の指定 >

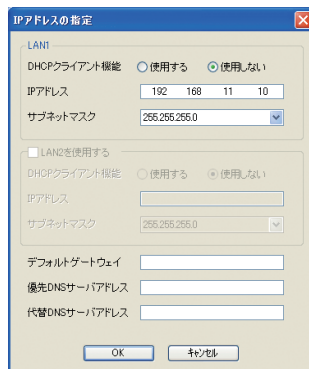
4 ページの復元の設定画面で、[説明]-[指定する] をクリックすると表示することができます。

説明の指定ダイアログボックス。タイトルバーには「説明の指定」とあり、右上には閉じるボタン（X）があります。中央には「説明」というラベルと入力フィールドがあります。下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。

説明を指定するには、[説明] に TeraStation の説明を入力し、[OK] をクリックします。

< IP アドレスの指定 >

4 ページの復元の設定画面で、[IP アドレス設定]-[指定する] をクリックすると表示することができます。

IPアドレスの指定ダイアログボックス。タイトルバーには「IPアドレスの指定」とあり、右上には閉じるボタン（X）があります。ダイアログは「LAN1」と「LAN2」の2つのセクションに分かれています。LAN1セクションには「DHCPクライアント機能」のラジオボタン（「使用しない」が選択済み）、「IPアドレス」のフィールド（192.168.11.10）、および「サブネットマスク」のフィールド（255.255.255.0）があります。LAN2セクションには「LAN2を使用する」のチェックボックス（未選択）、「DHCPクライアント機能」のラジオボタン（「使用しない」が選択済み）、「IPアドレス」のフィールド、および「サブネットマスク」のフィールド（255.255.255.0）があります。下部には「デフォルトゲートウェイ」、「優先DNSサーバアドレス」、「代替DNSサーバアドレス」のフィールドがあります。最下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。

IP アドレスを指定するには、下記項目を設定し、[OK] をクリックします。

DHCP クライアント機能：

ネットワーク内に DHCP サーバーがあるとき、DHCP クライアント（IP アドレス自動割り当て）機能を利用できます。DHCP クライアント機能を利用したいときは、[使用する] を選択してください。

※ LAN ポートが2つある TeraStation をお使いの場合、LAN ポート 2 に接続したネットワークを設定するときは、[LAN2 を使用する] をクリックし、チェックマークを表示させてください。

IP アドレス：IP アドレスを入力します。DHCP クライアント機能 [使用する] が選択されていると入力できません。

※ LAN ポートが2つある TeraStation をお使いの場合、LAN ポート 2 に接続したネットワークを設定するときは、[LAN2 を使用する] をクリックし、チェックマークを表示させてください。

サブネットマスク：サブネットマスクを選択します（初期設定 255.255.255.0）。DHCP クライアント機能 [使用する] が選択されていると入力できません。

※ LAN ポートが2つある TeraStation をお使いの場合、LAN ポート 2 に接続したネットワークを設定するときは、[LAN2 を使用する] をクリックし、チェックマークを表示させてください。

デフォルトゲートウェイ：デフォルトゲートウェイが存在するとき、IP アドレスで入力します。DHCP クライアント機能 [使用する] が選択されていると入力できません。

優先 DNS サーバアドレス：優先する DNS サーバーの IP アドレスで入力します。DHCP クライアント機能 [使用する] が選択されていると入力できません。

代替 DNS サーバアドレス：代替の DNS サーバーの IP アドレスを入力します。DHCP クライアント機能 [使用する] が選択されていると入力できません。